

金沢交流

スポ少交流

多度津交流



9月30日、吉江中学校体育館において、金沢市スポーツ少年団と交流会を行いました。2

年ごとに種目を変え交流を実施しています。今年と来年は卓球です。交流試合の後には父母会の方が作ってくださったカレーライスを全員で食べ、ピンゴゲームや名刺交換会など楽しい交流会ができました。



8月2日から4日にかけて、福野支部スポーツ少年団員と指導者が香川県多度津町を訪問し、交流を深めてきました。多度津町は1ヶ月近く雨が降っておらず、とても暑い日が続きました。その中でも交流試合では少々バテ気味の団員もいましたが暑さに負けず頑張ってきました。



また民泊や花火大会、金刀比羅宮にも登り、たくさんの夏の思い出が出来ました。来年は多度津町のみんなが来てくれます。



体協だより

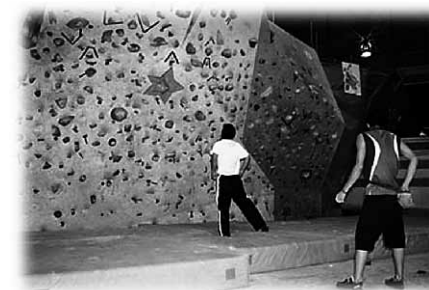
第11号

平成20年11月25日

「おおいた国体」初優勝！ 山岳少年少女リード競技

10月5日、大分県竹田高校で行われた山岳少年少女リード競技に出場した嶋田真琴（高岡商高）、内山葵（砺波高）両選手が栄冠を勝ち取りました。二人は南砺市城端地域出身の幼なじみです。

山岳競技といえば、重い荷物を背負って山を駆け上がるといったイメージを持たれている方が多いと思います。それも山岳競技の一つではありますが、今回の国体で行われた競技は「リード」と「ボルダリング」の二つの種目で行われました。「リード」は高さ15メートルの人工壁を登り、到達した高さを競うものです。チームの2名が左右の壁を同時に登り始め、制限時間内にどの高さまで登れたかで個人順位を算出し、個人順位の合計が最も小さいチームが優勝となるわけです。試合会場は、起状のある高さ15メートル、幅4メートルの人工壁が設けられていました。そこで内山選手が頂上の直前まで、嶋田選手は3メートルほど手前まで到達し得点を競いました。励ましあいながら苦しい練習を乗り越えて頑張ってきた栄光です。



今後の2人の活躍を期待したいと思います。

城端の桜ヶ池クライミングセンターに行けば練習風景が見れるかもしれませんよ！

トレーニングを
楽しもう!!

会員募集

月・木曜日 PM7:30~9:30
福野体育館

体協HP

ただ今、工事中。
12月初旬よりみられます。
乞う、ご期待!!

平成20年度 なんとスポーツコンベンション

「スポーツで南砺市の未来を考える」
～子どもの体力を高め、スポーツを楽しめる環境づくりを目指して～

◆日 時：平成20年 11月29日(土) 13:00～受付
◆会 場：いのちのこけし館
(南砺市宮後188 TEL 0763-64-2202)

◆内 容：①講演会
演 題／「北京を目指した4年間」
講 師／北京オリンピックカヌー競技選手
北本 忍氏
②スポーツシンポジウム
テーマ／「地域で高める子どもたちの体力」

第20回 たいらクロスカントリー大会

第20回たいらクロスカントリー大会は、20回の節目としてゲストランナーを迎え8月31日、南砺市小来栖たいらクロスカントリーコースで開催されました。7月28日の豪雨や8月末に続いた大雨の被害が心配されましたが、コースもよく整備され、大会当日は記念大会にふさわしい日和となりました。

出場者の中には大会直前に台風による浸水被害を受けた愛知県の方や和歌山・三重県など、県内外から595名が出場。小学生から一般まで2km及び4・5・10kmの各距離で、男女年代別に13種目が設けられ、



参加した選手は、北京オリンピック出場のゲストランナー早狩実紀選手と共に、杉林の間から差込む陽光を背に起伏に富んだコースに挑みました。

開会式では、櫻井大会長が「ゲストランナーと共に頑張ってください」と挨拶。来賓として山本市収入役、水木猛市議会議長、山辺美嗣、武田慎一の両県議に出席いただき、平中学校の中元智君が選手が宣誓を行ない、9時30分、2km・4km小学生の部を皮切りに、10kmの部・5kmの部と選手達は元気よく飛び出していきました。



北京オリンピック3000m障害出場の早狩選手は2kmと5kmの部に参加し、素晴らしい日本代表の走りを披露。ゴール後、何度もコースを逆走しチビッ子選手を迎え励ましながらゴールインしていました。また、レース後は、写真撮影やサインを求められ気軽に応じてくださいました。

「厳しいコースだったが早狩選手と走れてよかった」「雨でコース状態が悪かった」など、参加された皆様からいただいた声を来年度に生かし、これからも多くのランナーに愛され、より良い大会になるよう、みんなで育てていきたいと思ひます。



第20回たいらクロスカントリー大会結果

種 目	1 位	2 位	3 位
2km 小学生4年以下男子	福岡 鍊(福井県)	植木 大晴(福井県)	宮崎 航(富山市)
2km 小学生4年以下女子	谷口 舞(石川県)	米沢 美柚(立山町)	稲葉さくら(立山町)
4km 小学生5・6年男子	前谷内恒介(石川県)	米沢 海人(立山町)	福田 裕大(石川県)
4km 小学生5・6年女子	谷口 美咲(石川県)	宝田 彩香(立山町)	中村 智美(富山市)
5km 中学生男子	細森 大輔(砺波市)	寺澤 望(立山町)	荒田 彰吾(小矢部市)
5km 中学生女子	森 聡子(砺波市)	馬場美沙紀(富山市)	永井ちひろ(富山市)
5km 高校生以上54歳以下男子	馬淵 直也(岐阜県)	浜上 貴志(石川県)	川田 悦士(射水市)
5km 高校生以上49歳以下女子	黒川 由子(立山町)	吉田 詩子(石川県)	横川 郁美(南砺市)
5km 55歳以上男子	成木 猛生(愛知県)	久利須 隆(石川県)	吉眞 泰男(岐阜県)
5km 50歳以上女子	下越 吉枝(高岡市)	池原 英子(射水市)	中田 信子(石川県)
10km 高校生以上40歳未満男子	金丸 聡寛(石川県)	鉢嶺 孝輔(南砺市)	太田 京祐(高岡市)
10km 40歳以上男子	南藤 宏和(奈良県)	福江 徳幸(南砺市)	鍛冶 忠和(南砺市)
10km 高校生以上女子	佐々木英里(黒部市)	田村あすみ(岐阜県)	山瀬 由貴(南砺市)

第26回 富山県駅伝競走大会

南砺市チーム 4位 (記録:2時間17分56秒)



県内郡市12チーム対抗で健脚を競い合う「第26回富山県駅伝競走大会」が11月9日開催され、南砺市チームは4位入賞を果たしました。

この大会は、置県100年記念事業として昭和57年に県内1周駅伝としてスタートし、現在は富山一高岡間往復42.5キロを18区間のコースに分け、中学生から高校・一般まで幅広い年代を1チームとして行われています。大会当日の天候は曇。気温11度と少し肌寒い日でしたが、駅伝には絶好のコンディションとなりました。沿道では、南砺市選手の健闘する姿に熱い声援が送られ、どの選手も全力を振り絞り1本のタスキをリレーしながら激しいデッドヒートを繰り広げていました。

今年度は、練習回数も大幅に増やしチーム一丸となって臨みましたが、惜しくも優勝旗の奪還は成りませんでした。しかし、最後まであきらめない選手たちの力強い走りは、沿道で見ている多くの方々に勇気と感動を与えてくれました。



【監 督】嶋田 健治

【出場選手】

区 間	選 手 名	所 属	記 録	区 間	選 手 名	所 属	記 録
1(3.1km)	永井 秀篤	高岡向陵高校	9分00秒	13(2.2km)	堀池 麻友	南砺総合福光高校	7分31秒
2(1.2km)	山瀬 由貴	専修大学	4分35秒	14(2.0km)	中西 侑人	福光中学校	6分05秒
3(1.9km)	安念 辰騎	井波中学校	5分40秒	15(1.8km)	中川 育美	高岡第一高校	6分15秒
4(1.5km)	中田 棕子	井波中学校	5分28秒	16(3.0km)	高瀬 裕行	サカタニ農産	9分04秒
5(1.8km)	七山 拓紀	亜細亜大学	5分00秒	17(2.1km)	南 伊織	南砺総合福光高校	6分59秒
6(2.0km)	浅地 千帆	城端中学校	7分11秒	18(2.2km)	長谷 朋佳	利賀中学校	8分07秒
7(3.3km)	山下 修司	城端中学校	10分59秒		堂口 一織	利賀中学校	
8(3.7km)	須河 宏紀	富山商業高校	11分04秒		坂本 想	南砺総合福光高校	
9(2.6km)	山田 美紀	富山商業高校	8分35秒		嶋田 将樹	日本体育大学	
10(3.3km)	岩井 一泰	高岡向陵高校	10分11秒		川原亜季乃	福野中学校	
11(1.8km)	橋場 唯	福野中学校	6分29秒		和田 素子	富山大学	
12(3.0km)	大江 真嗣	吉江中学校	9分43秒				

◎＝区間新記録